

プログラム

特別講演1

第1日目 1月23日(火) 13:35 - 14:25

講演会場(8階 大ホール)

座長：小川 久美子(国立医薬品食品衛生研究所)

SL-1 最長寿命歯類ハダカデバネズミの抗老化・発がん耐性の分子機構の探求

○三浦 恭子

熊本大学 大学院生命科学研究部(医) 老化・健康長寿学講座

特別講演2

第2日目 1月24日(水) 11:10 - 12:00

講演会場(8階 大ホール)

座長：義澤 克彦(武庫川女子大学)

SL-2 食品安全委員会における食品健康影響評価の実際

○浅野 哲

内閣府食品安全委員会

シンポジウム1 新技術・新知見が深める病理組織学的変化の解釈

第1日目 1月23日(火) 10:25 - 12:25

講演会場(8階 大ホール)

座長：鈴木 雅実(公益財団法人実験動物中央研究所)
魏 民(大阪公立大学)

S1-1 空間トランスクリプトームによる病理組織像解析

○石川 俊平^{1,2)}

¹⁾東京大学 医学部・大学院医学系研究科 衛生学教室、

²⁾国立がん研究センター 先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野

S1-2 イメージングメタボロミクスによるがんとがん間質の代謝解析と応用

○末松 誠^{1,2)}

¹⁾(公財)実中研、²⁾慶應義塾大学

S1-3 直鎖状ユビキチン化を介した炎症・免疫シグナル制御と疾患

○徳永 文穂

大阪公立大学 大学院医学研究科 医化学

S1-4 初代ヒト細胞の不死化とそのがん研究への応用

○清野 透

国立がん研究センター 先端医療開発センター HPV関連がん予防・治療プロジェクト

シンポジウム2 毒性試験の病理学的検査におけるAIの活用と今後

第2日目 1月24日(水) 09:00 - 11:00

講演会場(8階 大ホール)

座長：穴山 久志(武田薬品工業株式会社)

柿本 恒知(株式会社ボゾリサーチセンター)

S2-1 国立情報学研究所における医療ビッグデータ研究センターの取り組みを振り返って

○喜連川 優^{1,2)}

¹⁾大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構、²⁾東京大学

S2-2 Introducing Minitox 1.0: A new decision support AI tool for the bench toxicologic pathologist

○Daniel G. Rudmann

Charles River Laboratories

S2-3 ヒト組織病理診断におけるAIの活用

○塚本 徹哉¹⁾、桐山 諭和^{1,2)}、道場 彩乃¹⁾

¹⁾藤田医科大学 医学部病理診断学、²⁾成田記念病院 病理診断科

S2-4 AI病理に関する製薬協の取り組み

○松本 泉美^{1,2)}

¹⁾住友ファーマ株式会社、

²⁾日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 基礎研究部会 AI病理に関するタスクフォース

パネルディスカッション

第2日目 1月24日(水) 13:10 - 14:40

講演会場(8階 大ホール)

座長：加藤 淳彦(中外製薬株式会社)

佐藤 順子(メディフォード株式会社)

PD 我々はもうなんでも知っているのか？まだまだ悩ましい「増殖性病変の境界」の世界

パネリスト：

井澤 武史(大阪公立大学)

岩田 聖(ルナパス毒性病理研究所)

太田恵津子(エーザイ株式会社)

大平 東子(Shanghai InnoStar Bio-tech Co., Ltd.)

岡崎 欣正(AnaPath Services GmbH)

尾崎 清和(摂南大学)

藤原 利久(株式会社新日本科学)

美谷島克宏(東京農業大学)

山口 裕子(株式会社ボゾリサーチセンター)

IATP Maronpot Guest Lecture

第1日目 1月23日(火) 15:45 - 16:35

講演会場(8階 大ホール)

座長：林 新茂(国立医薬品食品衛生研究所)

IATP Cell proliferation and carcinogenesis

○Samuel M. Cohen

University of Nebraska Medical Center

ワークショップ1

第1日目 1月23日(火) 09:15 - 10:15

講演会場(8階 大ホール)

座長：美谷島 克宏(東京農業大学)
爰島 洋子(株式会社新日本科学)

W1-1* Evaluating hepatic metabolism and carcinogenicity of dimethylarsinic acid using humanized liver mice model

○Arpamas Vachiraarunwong¹⁾, Min Gi^{1,2)}, Masaki Fujioka²⁾, Shugo Suzuki²⁾, Guiyu Qiu²⁾, Runjie Guo¹⁾, Anna Kakehashi²⁾, Hideki Wanibuchi²⁾

¹⁾Department of Environmental Risk Assessment, Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine,

²⁾Department of Molecular Pathology, Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine

W1-2* Angiotensin II receptor blocker suppresses liver injury and fibrosis in rat non-alcoholic steatohepatitis model

○Xiaochen Kuang, Aya Naiki-Ito, Masayuki Komura, Hiroyuki Kato, Satoru Takahashi

Dept. Exp. Pathol. Tumor Biol., Nagoya City Univ.

W1-3* マウス肝線維化病態の進行と血中Mac-2 binding protein (Mac-2bp) 濃度の関連についての解析

○神野 涼平¹⁾、上地 哲平¹⁾、当摩 茉莉花¹⁾、煙山 紀子²⁾、笹瀬 智彦³⁾、前川 竜也²⁾、中江 大^{2,4)}、美谷島 克宏^{1,2)}

¹⁾東京農業大学大学院 応用生物科学研究科 食品安全健康学専攻、

²⁾東京農業大学 応用生物科学部 食品安全健康学科、

³⁾京都大学大学院 農学研究科 応用生物科学専攻生体機構学分野、

⁴⁾帝京平成大学 健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科

W1-4* オクラトキシンAによる腎発がん過程初期におけるDNAメチル化制御破綻を介したエピジェネティック機序の関与

○小澤 俊介^{1,2)}、尾城 椋太^{1,2)}、Qian Tang^{1,2)}、Xinyu Zou^{1,2)}、吉田 敏則^{1,2)}、渋谷 淳^{1,2)}

¹⁾東京農工大学 獣医病理学研究室、²⁾東京農工大学大学院 共同獣医学専攻

ワークショップ2

第1日目 1月23日(火) 14:35 - 15:35

講演会場(8階 大ホール)

座長：藤原 利久(株式会社新日本科学)
内木 綾(名古屋市立大学)

W2-1* マウスにおける皮膚内神経線維の3次元立体構造の解明および表皮内神経線維の定量解析法の確立

○稲永 美乃里、貝谷 恵里奈、松田 歩、松浦 哲郎、尾崎 清和

摂南大学 薬学部 病理学研究室

W2-2* Deep Learningを用いた病理画像解析モデルの構築とラット早期毒性試験への応用

○島寄 大志¹⁾、安井 雄三¹⁾、牟田 恭亮¹⁾、山田 直人¹⁾、Thomas Tijo²⁾、Joshi Uttara²⁾、正田 俊之¹⁾

¹⁾日本たばこ産業 医薬総合研究所 横浜リサーチセンター 安全性研究所、²⁾AIRA Matrix Private Limited

W2-3* HALO[®] 及び HALO AI[™]を用いた画像解析による非アルコール性脂肪肝 (NAFL) の脂肪滴定量評価方法の検討

○平光 彩乃¹⁾、松尾 沙織里¹⁾、山崎 雅輝¹⁾、及川 優²⁾、城屋敷 枝里²⁾、加藤 淳彦¹⁾

¹⁾中外製薬株式会社 安全性バイオサイエンス研究部、²⁾中外製薬株式会社 創薬薬理第二研究部

W2-4* 対照群ラットの組織画像から獲得した特徴量による多種類の肝病変の検出

○根岸 充¹⁾、富永 俊弼¹⁾、猪又 晃²⁾

¹⁾富士フイルム株式会社 画像技術センター、

²⁾富士フイルム株式会社 バイオサイエンス&エンジニアリング研究所

ポスター発表 1. 神経・感覚器 1

第1日目 1月23日(火) 討論時間 16:45 - 17:45 ポスター・商業展示会場(7階 イベントホール)

座長：梯 アンナ(大阪公立大学)

尾崎 清和(摂南大学)

P-01* Experimental autoimmune encephalomyelitis model induced by MOG35-55 in C57BL/6J mice

○Hui Guo, Mu Du, Rui Zhang, Hongnian Guo, Kai Zhang, Rongzhen Zhao, Xueling Yu,

Yasuhiko Hirouchi

JOINN Laboratories (Suzhou) Co., Ltd

P-02* Establishment of ALS mouse model of amyotrophic lateral sclerosis

○Rui Zhang¹⁾, Mu Du¹⁾, Yanan He²⁾, Beibei Wang²⁾, Jun Yin²⁾, Lei Zhao²⁾, Xiaojing Liu²⁾, Kai Zhang¹⁾,
Wei Qi³⁾, Jin Guo⁴⁾, Wenyu Wu⁵⁾, Hui Guo¹⁾, Yasuhiko Hirouchi¹⁾, Hongnian Guo¹⁾

¹⁾JOINN Laboratories (Suzhou) Co., Ltd., ²⁾JOINN Laboratories Co., Ltd.,

³⁾Suzhou Frontage New Drug Development Co., Ltd., ⁴⁾Crown Bioscience Inc., ⁵⁾Pharmaceuticals (Beijing) Co., Ltd.

P-03* Effect of α -glycosyl isoquercitrin on maternal imidacloprid exposure-induced disruptive hippocampal neurogenesis in rats

○Xinyu Zou^{1,2)}, Qian Tang^{1,2)}, Ryota Ojiro^{1,2)}, Shunsuke Ozawa^{1,2)}, Momoka Shobudani¹⁾,
Yuri Sakamaki¹⁾, Yuri Ebizuka¹⁾, Toshinori Yoshida^{1,2)}, Makoto Shibutani^{1,2)}

¹⁾Laboratory of Veterinary Pathology, Tokyo University of Agriculture and Technology,

²⁾Cooperative Division of Veterinary Sciences, Graduate School of Agriculture,
Tokyo University of Agriculture and Technology

P-04* Pathological observation of human iPSC-derived dopamine neurons transplanted into the striatum of NOG mice

○Kai Zhang, Mu Du, Hongnian Guo, Hui Guo, Rui Zhang, Jinnan Xi, Rongzhen Zhao, Xueling Yu,

Wei Qi, Yasuhiko Hirouchi, Zheng Li

JOINN Laboratories (Suzhou) Co., Ltd.

P-05* Effect of diphenylarsinic acid on hippocampal neurogenesis in SD rats

○Guiyu Qiu¹⁾, Min Gi^{1,2)}, Masaki Fujioka¹⁾, Shugo Suzuki¹⁾, Anna Kakehashi¹⁾, Tomoki Yamamoto¹⁾,
Ikue Noura¹⁾, Arpamas Vachiraarunwong²⁾, Runjie Guo²⁾, Hideki Wanibuchi¹⁾

¹⁾Department of Molecular Pathology, Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine,

²⁾Department of Environmental Risk Assessment, Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine

ポスター発表 2. 神経・感覚器 2

第2日目 1月24日(水) 討論時間 14:50 - 15:50 ポスター・商業展示会場(7階 イベントホール)

座長：緒方 敬子(住友化学株式会社)
栃谷 智秋(住友ファーマ株式会社)

P-06* クプリゾン混合ペレット誘発性脱髄モデルの経時的病態解析

○杉山 淳一^{1,2)}、田中 英樹¹⁾、吉田 翔太¹⁾、鈴木 崇将¹⁾、一ツ町 裕子¹⁾、桑村 充²⁾、鈴木 智¹⁾

¹⁾大鵬薬品工業株式会社 前臨床基礎研究所、²⁾大阪公立大学 獣医病理学研究室

P-07 甲状腺ホルモンかく乱作用のスクリーニング試験における Heterotopia 検索の有用性検討：投与期間と検査時期の適正検証

○緒方 敬子¹⁾、南 健太¹⁾、須藤 英典¹⁾、前田 圭子¹⁾、串田 昌彦¹⁾、江口 あゆみ¹⁾、佐藤 旭²⁾、高橋 尚史²⁾、青山 博昭²⁾、浅野 敬之¹⁾、山田 智也¹⁾

¹⁾住友化学株式会社、²⁾一般財団法人残留農薬研究所

P-08* クプリゾン誘発性慢性脱髄モデルにおける脳の病理組織学的変化と運動及び認知機能の関係

○大澤 智美¹⁾、増子 寿弥²⁾、堀江 恭平²⁾、齋藤 博³⁾

¹⁾帝人ファーマ(株) 生物医学総合研究所 動態・安全性研究部、

²⁾帝人ファーマ(株) 生物医学総合研究所 薬理研究部、

³⁾帝人ファーマ(株) 生物医学総合研究所 創薬化学研究所

P-09 病理組織学は、ウシ角膜を用いる混濁度および透過性 (BCOP) 試験法に詳細な毒性情報を付与する

○安彦 由喜恵

株式会社化合物安全性研究所

P-10 Deep learning-based image analysis model for evaluation of CNS toxicity in rats

正田 俊之¹⁾、○島崎 大志¹⁾、牟田 恭亮¹⁾、山田 直人¹⁾、Garg Rohit²⁾、Mohanty Amogh²⁾、Samanta Pranab²⁾、Thomas Tijo²⁾、安井 雄三¹⁾

¹⁾日本たばこ産業 医薬総合研究所 横浜リサーチセンター 安全性研究所、²⁾AIRA Matrix Private Limited

ポスター発表 3. 血液・循環器

第1日目 1月23日(火) 討論時間 16:45 - 17:45 ポスター・商業展示会場(7階 イベントホール)

座長：中村 明子(日本たばこ産業株式会社)
藤澤 可恵(塩野義製薬株式会社)

P-11 演題取り下げ

P-12 イソプロテレノール (ISO) 誘発ラット心筋損傷における miR-210 のISH シグナル検索

○田中 英樹、伊東 顕二郎、田中 咲帆、杉山 淳一、吉田 翔太、一ツ町 裕子、鈴木 智
大鵬薬品工業株式会社 前臨床基礎研究所

P-13* AAV 遺伝子治療製品による目的タンパク質の過剰産生はマウス心筋細胞において小胞体ストレス応答及び細胞変性を誘導する

○安野 恭平¹⁾、渡邊 諒¹⁾、石田 留美子¹⁾、岡戸 恵子²⁾、今岡 尚子¹⁾、土屋 由美¹⁾

¹⁾第一三共(株) 安全性研究所、²⁾第一三共RDノバーレ(株) トランスレーショナル研究部

P-14 演題取り下げ

P-15 演題取り下げ

ポスター発表 4. 口腔・消化管

第2日目 1月24日(水) 討論時間 14:50 - 15:50 ポスター・商業展示会場(7階 イベントホール)

座長：諸木 孝泰(大塚製薬株式会社)
斎藤 翼(株式会社ボゾリサーチセンター)

P-16* 高齢RccHan:WISTラットにおける胃腫瘍の病理学的検討

○馬場 雄大、本郷 直子、岡田 亜季子、池田 瑛人、永池 美香、乾 公正
石原産業株式会社 中央研究所

P-17 Histology of juvenile cynomolgus monkeys: Pancreas

○Junko Fujishima, Yusei Miyazaki, Goki Tsujimoto, Hiroko Kokoshima, Michihiro Yonezawa,
Hosei Kusumoto, Jotaro Hayasaki, Kinji Kobayashi, Akihiro Arima
Drug Safety Laboratories, Shin Nippon Biomedical Laboratories, Ltd.

P-18 Histology of juvenile cynomolgus monkeys: Mandibular glands

○Hiroko Kokoshima, Junko Fujishima, Yusei Miyazaki, Goki Tsujimoto, Hosei Kusumoto,
Kinji Kobayashi, Akihiro Arima
Shin Nippon Biomedical Laboratories, Ltd.

P-19* APC遺伝子の生殖細胞系列変異を有するイヌの小腸腫瘍細胞株の樹立とWnt/ β -catenin経路の解析

○塩見 彩来¹⁾、廣田 照了¹⁾、後藤 みなみ¹⁾、米地 若菜¹⁾、吉崙 響子^{1,2)}、村上 麻美^{1,3)}、
酒井 洋樹¹⁾、平田 暁大¹⁾

¹⁾岐阜大学 応用生物科学部 共同獣医学科 獣医病理学研究室、

²⁾山口大学 共同獣医学部 病態制御学講座 獣医病理学分野、

³⁾岐阜大学 応用生物科学部 共同獣医学科 病態解析・診断学

P-20* デキストラン硫酸ナトリウム誘発大腸炎と食餌誘発性NASH病態の病態進行に寄与する相互作用

○宇野 絹子¹⁾、畑中 悠里²⁾、煙山 紀子³⁾、中江 大⁴⁾、太田 毅¹⁾、美谷島 克宏^{2,3)}

¹⁾京都大学大学院 農学研究科 応用生物科学専攻 生体機構学分野、

²⁾東京農業大学大学院 応用生物科学研究科 食品安全健康学専攻、

³⁾東京農業大学 応用生物科学部 食品安全健康学科、

⁴⁾帝京平成大学 健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科 動物医療コース

ポスター発表 5. 肝臓・膵臓 1

第1日目 1月23日(火) 討論時間 16:45 - 17:45 ポスター・商業展示会場(7階 イベントホール)

座長：高橋 美和(アステラス製薬株式会社)
佐藤 則博(旭化成ファーマ株式会社)

P-21 カニクイザルthioacetamide誘発肝線維化モデルにおける線維成分の推移

○高橋 美和¹⁾、小野 美穂子¹⁾、梶川 悟¹⁾、見鳥 光²⁾、坪田 健次郎¹⁾

¹⁾アステラス製薬(株) 開発研究、²⁾Astellas Gene Therapies, Inc.

P-22* Diphenylarsinic acid induced transplacental liver carcinogenesis via epigenetic changes in F1 mice

○Masaki Fujioka¹⁾, Min Gi^{1,2)}, Shugo Suzuki¹⁾, Yuji Oishi¹⁾, Arpamas Vachiraarunwong²⁾,
Guiyu Qiu¹⁾, Kana Shibano¹⁾, Anna Kakehashi¹⁾, Hideki Wanibuchi¹⁾

¹⁾Department of Molecular Pathology, Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine,

²⁾Department of Environmental Risk Assessment, Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine

P-23 結晶子径が異なる二酸化チタン粒子のラットを用いた90日間反復経口投与による毒性影響とチタン蓄積の検討

○赤木 純一、水田 保子、畝山 瑞穂、小川 久美子

国立医薬品食品衛生研究所 病理部

P-24* 西洋食負荷が肥満2型糖尿病モデルSDT fattyラットの肝臓に及ぼす病理組織学的影響

○小竹 立珠¹⁾、宇野 絹子¹⁾、杉本 実紀¹⁾、笹瀬 智彦¹⁾、鳥庭 靖文²⁾、山田 宜永²⁾、
太田 毅¹⁾

¹⁾京都大学大学院 農学研究科 応用生物科学専攻 生体機構学分野、²⁾新潟大学大学院 自然科学研究科

P-25* チオアセトアミド誘発GSTp陽性肝細胞癌におけるNrf2系活性化機構の解析

○伊藤 ゆり¹⁾、井澤 武史¹⁾、濱田 菜々子¹⁾、田中 美有¹⁾、田口 恵子^{2,3)}、山本 雅之³⁾、
桑村 充¹⁾

¹⁾大阪公立大学 獣医病理学教室、

²⁾東京大学大学院 農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 食糧化学研究室、

³⁾東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 分子医化学分野

P-26* アルデヒド脱水素酵素2型遺伝子多型によるアリルアルコール誘発肝毒性の増悪機序の解析

○高見 優生¹⁾、中村 純²⁾、田中 美有¹⁾、桑村 充¹⁾、岡田 利也²⁾、井澤 武史¹⁾

¹⁾大阪公立大学 獣医病理学教室、²⁾大阪公立大学 実験動物学教室

ポスター発表 6. 肝臓・膵臓 2

第2日目 1月24日(水) 討論時間 14:50 - 15:50 ポスター・商業展示会場(7階 イベントホール)

座長：大平 東子(Shanghai InnoStar Bio-tech)
高橋 尚史(一般財団法人残留農薬研究所)

P-27* Histopathological observation of GLP-1/GIP receptor agonist in Cynomolgus monkeys

○Mu Du¹⁾, Yanan He²⁾, Beibei Wang²⁾, Jun Yin²⁾, Rui Zhang¹⁾, Hui Guo¹⁾, Wenyu Wu³⁾,
Yasuhiko Hirouchi¹⁾

¹⁾JOINN Laboratories (Suzhou) Co., Ltd., ²⁾JOINN Laboratories (Beijing) Co., Ltd.,

³⁾Bocytogen Pharmaceuticals (Beijing) Co., Ltd.

P-28 SDラット肝癌形成に対する Bear Bile Powder と Ursodeoxycholic の予防治療作用

○金 美蘭¹⁾、賈 貴揚²⁾、董 銳²⁾、倪 元萍²⁾、王 夢茹²⁾
¹⁾西南大学 実験動物センター、²⁾西南大学 動物医学院

P-29* A small interfering RNA (siRNA) against complement C5 mRNA induced liver injury in CD-1 mice

○Hongnian Guo, Mu Du, Kai Zhang, Hui Guo, Wei Qi, Rongzhen Zhao, Xueling Yu, Rui Zhang,
Yasuhiko Hirouchi, Zheng Li
JOINN Laboratories (Suzhou) Co., Ltd.

P-30 ヒト浸潤性膵管癌の新規バイオマーカー候補の検討及び発がん機序解明

○梯 アンナ、西土井 悠作、Guiyu Qiu、鈴木 周五、藤岡 正喜、Arpamas Vachiraarunwong、
魏 民、鰐淵 英機
大阪公立大学大学院 医学研究科 分子病理学

P-31 コリン欠乏メチオニン低減高脂肪アミノ酸食によるマウス NASH 合併血管肉腫の病態因子探索

○煙山 紀子¹⁾、前島 朱理¹⁾、佐藤 礼佳¹⁾、中根 冴¹⁾、阿部 有加里¹⁾、前川 竜也¹⁾、
中江 大^{1,2)}、美谷島 克宏¹⁾
¹⁾東京農業大学 応用生物科学部 食品安全健康学科、
²⁾帝京平成大学 健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科

ポスター発表 7. 肝臓・膵臓 3

第1日目 1月23日(火) 討論時間 16:45 - 17:45 ポスター・商業展示会場(7階 イベントホール)

座長：串田 昌彦(住友化学株式会社)
安野 弘修(武田薬品工業株式会社)

P-32* 免疫組織化学染色による小核化肝細胞の検出

○笠松 建吾^{1,2)}、石井 雄二¹⁾、山上 洋平^{1,3)}、高須 伸二¹⁾、相馬 明玲¹⁾、小澤 俊介²⁾、
渋谷 淳²⁾、小川 久美子¹⁾
¹⁾国立医薬品食品衛生研究所 病理部、²⁾東京農工大学 獣医病理学研究室、
³⁾東京農工大学 獣医毒性学研究室

P-33* ラット肝発がん物質の早期検出における ALDH3A1 と γ -H2AX 免疫染色の有用性評価

○畝山 瑞穂、豊田 武士、赤木 純一、赤根 弘敏、水田 保子、森川 朋美、小川 久美子
国立医薬品食品衛生研究所 病理部

P-34* 雌 SDT ラットの膵島についての病理学的解析

○各務 温花¹⁾、前川 竜也²⁾、宇野 絹子^{2,3)}、笹瀬 智彦³⁾、太田 毅³⁾、美谷島 克宏^{1,2)}
¹⁾東京農業大学院 応用生物科学研究科 食品安全健康学専攻、
²⁾東京農業大学 応用生物科学部 食品安全健康学科、
³⁾京都大学大学院 農学研究科 応用生物科学専攻 生体機構学分野

P-35* マウス膵炎モデルを用いたプロテオーム解析による膵発癌メカニズムの検討

○加藤 寛之、内木 綾、小村 理行、高橋 智
名古屋市立大学 院医 実験病態病理学

P-36 非アルコール性脂肪肝炎および肝線維化に対する lactoferrin の抑制効果

○内木 綾¹⁾、加藤 寛之¹⁾、小村 理行¹⁾、津田 洋幸^{1,2)}、高橋 智¹⁾
¹⁾名古屋市立大学大学院 医学研究科 実験病態病理学分野、²⁾名古屋市立大学 津田特任教授研究室

ポスター発表 8. 肝臓・膵臓 4

第2日目 1月24日(水) 討論時間 14:50 - 15:50 ポスター・商業展示会場(7階 イベントホール)

座長：木ノ本 寿子(ゼリア新薬工業株式会社)
隈部 志野(日本新薬株式会社)

P-37 Acetamideのラット肝臓における代謝物と核の形態異常への関与

○石井 雄二¹⁾、山上 洋平^{1,2)}、田原 麻衣子³⁾、河上 強志³⁾、瀧本 憲史^{1,4)}、笠松 建吾^{1,4)}、高須 伸二¹⁾、相馬 明玲¹⁾、小川 久美子¹⁾

¹⁾国立医薬品食品衛生研究所 病理部、²⁾東京農工大学大学院 獣医毒性学研究室、

³⁾国立医薬品食品衛生研究所 生活衛生化学部、⁴⁾東京農工大学大学院 獣医病理学研究室

P-38* 無機ヒ素に曝露したヒト化肝臓マウスにおける尿中および糞中ヒ素の定量的解析及び毒性機序の検討

○芝野 佳奈¹⁾、藤岡 正喜¹⁾、魏 民^{1,2)}、Arpamas Vachiraarunwong²⁾、邱 桂ギョク¹⁾、郭 潤傑²⁾、鈴木 周五¹⁾、鰐淵 英機¹⁾

¹⁾大阪公立大学大学院 医学研究科 分子病理学、

²⁾大阪公立大学大学院 医学研究科 環境リスク評価学

P-39 ジメチルアルシン酸の経胎盤ばく露による肝発がんに関与する

○鈴木 周五¹⁾、魏 民^{1,2)}、藤岡 正喜¹⁾、Arpamas Vachiraarunwong^{1,2)}、梯 アンナ¹⁾、鰐淵 英機¹⁾

¹⁾大阪公立大学大学院 医学研究科 分子病理学、²⁾大阪公立大学大学院 医学研究科 環境リスク評価学

P-40 pioglitazoneは高脂肪食誘発NASHモデルマウスのインスリン抵抗性・肝機能・炎症を改善し、腫瘍発生を抑制する

尾崎 清和、松浦 哲郎、○稲永 美乃里

摂南大学 薬学部 病理学研究室

P-41* STAM mouse model of NASH model

Wenyu Wu¹⁾、○Mu Du²⁾、Yanan He²⁾、Rui Zhang²⁾、Beibei Wang²⁾、Siming Zhang³⁾

¹⁾Biocytogen Pharmaceuticals (Beijing) Co., Ltd., ²⁾JOINN Laboratories (China) Co., Ltd.,

³⁾Center of Safety Evaluation and Research, Hangzhou Medical College

P-42* CSAD ameliorates lipid accumulation in high-fat diet-fed mice

○Rongrong Tan, Henglei Lu, Luoyi Huang, Ziyue Cui, Shuyang Wang, Shujing Wang

Center for Drug Safety Evaluation and Research, State Key Laboratory of Drug Research, Shanghai Institute of Materia Medica, Chinese Academy of Sciences

ポスター発表 9. 泌尿器 1

第1日目 1月23日(火) 討論時間 16:45 - 17:45 ポスター・商業展示会場(7階 イベントホール)

座長：寒川 祐見(日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社)
梶川 悟(アステラス製薬株式会社)

P-43* Drug induced glomerular immune complex deposition of kidneys in rats and monkeys

○Wei Qi¹⁾、Hemei Wang¹⁾、Jing Xu¹⁾、Rui Zhang²⁾、Jin Guo³⁾、Yasuhiko Hirouchi²⁾、Mu Du²⁾、Hongnian Guo²⁾、Kai Zhang²⁾、Zheng Li¹⁾

¹⁾Suzhou Frontage New Drug Development Co., Ltd., ²⁾JOINN Laboratories (Suzhou) Co., Ltd.,

³⁾Crown Bioscience Inc.

P-44 Amphiphilic-vacuolar renal tubule adenoma in a ten-week-old female Sprague Dawley rat

○Yong-Hoon Lee, Tae-Woo Kim, Hye-Joon Park, Young-Hyun Lee, Mu-Jin Lee, Sung-Hyuck Im,
Yong-Seok Kim
ABSolution Co., Ltd.

P-45 Identification of the renal artifacts in Sprague-Dawley (SD) rats from a toxicity study

○Xueyan Pu¹), Juanjuan Jiang²), Juhao Yang¹), Kai Sun¹), Tianyi Jiang¹)
¹Toxicology & Pathology Department, Roche R&D Center (China) Ltd., ²Cali Biosciences US LLC

P-46* Development of a novel 3D urinary bladder mucosa model and evaluation of assessing arsenical toxicity

○Runjie Guo¹), Min Gi^{1,2}), Tohru Kiyono³), Arpamas Vachiraarunwong¹), Masaki Fujioka²),
Shugo Suzuki²), Guiyu Qiu²), Tomoki Yamamoto²), Anna Kakehashi²), Hideki Wanibuchi²)
¹Department of Environmental Risk Assessment, Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine,
²Department of Molecular Pathology, Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine,
³Exploratory Oncology Research and Clinical Trial Center, National Cancer Center

ポスター発表 10. 泌尿器 2

第2日目 1月24日(水) 討論時間 14:50 - 15:50 ポスター・商業展示会場(7階 イベントホール)

座長：小林 俊夫(一般財団法人化学物質評価研究機構)
桑村 充(大阪公立大学)

P-47 シクロスポリン誘発ラット腎線維化モデルにおける尿細管の形態とCD44発現

○松下 幸平、豊田 武士、赤根 弘敏、森川 朋美、小川 久美子
国立医薬品食品衛生研究所 病理部

P-48 DBA/2-*pcy* マウスにおける腎嚢胞の由来尿細管のHALO AI™解析

○村井 厚子¹), 市田 康弘²), 保井 由佳里²), 飯田 愛未²), 堀場 直²), 加藤 淳彦¹)
¹中外製薬(株) TR本部 安全性バイオサイエンス研究部、
²中外製薬(株) 研究本部 創薬薬理第一研究部

P-49 シスプラチンによるラット腎線維化モデルにおける経日的バイオマーカーの検討

○甲斐 清徳、山口 崇、本多 久美、袴田 志野婦、大澤 徹也、今岡 尚子、土屋 由美
第一三共 安全性研究所

P-50 γ -H2AX免疫染色によるラット腎発がん物質の早期検出

○豊田 武士、松下 幸平、赤根 弘敏、畝山 瑞穂、森川 朋美、小川 久美子
国立医薬品食品衛生研究所 病理部

P-51 SDラットにおける腎臓のamphiphilic vacuolar type tumorの施設内発生状況

○小林 俊夫、大嶋 浩、森岡 久子、山本 季美花、堀内 雅史、宮田 克己、寶珠山 五月
化学物質評価研究機構 日田事業所

ポスター発表 11. 生殖器・乳腺

第1日目 1月23日(火) 討論時間 16:45 - 17:45 ポスター・商業展示会場(7階 イベントホール)

座長：佐藤 洋(岩手大学)
田中 誠(株式会社大塚製薬工場)

P-52 ラットにおける3癒合胎盤の病理組織学的変化

○古川 賢^{1,2)}、辻 菜穂²⁾、林 清吾³⁾、黒田 雄介³⁾、木村 真之³⁾、小島 知里³⁾、竹内 和也³⁾
¹⁾日産化学株式会社 企画本部、²⁾日産化学株式会社 農業化学品事業部 企画開発部、
³⁾日産化学株式会社 生物科学研究所

P-53 乳癌転移前にセンチネルリンパ節で生じるリンパ洞過形成とその作用機序

○柴田 雅朗、白岡 千夏、近藤 洋一
大阪医科薬科大学 医学部 生命科学講座 解剖学教室

P-54* Cri:CD (SD) ラットにおける自然発生性の凝固腺癌の1例

○山崎 凌、安井 雄三、中村(穴川) 明子、豊田 薫、島寄 大志、正田 俊之
日本たばこ産業株式会社 医薬総合研究所 横浜リサーチセンター 安全性研究所

P-55* 幼若期ラット/Cri:CD (SD) における精巣発達過程の組織学的背景データ

○齋藤 那美香¹⁾、皆合 美月¹⁾、野口 ちひろ¹⁾、村上 雄一¹⁾、黒滝 哲郎¹⁾、小泉 治子¹⁾、
梶村 哲世¹⁾、佐藤 弘昌¹⁾、畠山 洋文¹⁾、藤原 淳¹⁾、岩田 聖²⁾
¹⁾株式会社イナリサーチ、²⁾株式会社 ルナパス毒性病理研究所

P-56 Testicular lesions cynomolgus monkey in a dose range finding test with repeated administration of an antitumor drug

○Yanjun Cui
Department of Pathology, Hubei Topgene Biotechnology Co., Ltd, Wuhan Branch

P-57* A test article targeting NK3 receptors induced delayed sexual maturation of males in Beagle Dogs

○Zheng Li, Kai Zhang, Hui Guo, Xueling Yu, Rongzhen Zhao, Hongnian Guo, Mu Du, Wei Qi
JOINN Laboratories (Suzhou) Co., Ltd.

ポスター発表 12. 内分泌

第2日目 1月24日(水) 討論時間 14:50 - 15:50 ポスター・商業展示会場(7階 イベントホール)

座長：日比 大介(小野薬品工業株式会社)
今岡 尚子(第一三共株式会社)

P-58* 演題取り下げ

P-59 ケトコナゾール投与ラットの副腎におけるマクロファージに関する免疫組織化学的検索

○安井 雄三、中村(穴川) 明子、豊田 薫、島寄 大志、山崎 凌、正田 俊之
日本たばこ産業株式会社 医薬総合研究所 横浜リサーチセンター 安全性研究所

P-60 TSH産生阻害剤によるラット抗甲状腺作用の検出における病理学的解析と血中ホルモン値の比較

○赤根 弘敏¹⁾、豊田 武士¹⁾、松下 幸平¹⁾、畝山 瑞穂¹⁾、森川 朋美¹⁾、小坂 忠司²⁾、
田島 均²⁾、青山 博昭²⁾、小川 久美子¹⁾

¹⁾国立医薬品食品衛生研究所 病理部、²⁾一般財団法人残留農薬研究所 毒性部

P-61* 老齢F344ラットにおける自然発生性の大腿筋神経原性筋萎縮と腓島腫瘍の関連

○内田 光俊、土居 卓也、涌生 ゆみ、中原 豊、霜山 奈津美、友成 由紀、細川 暁、
佐藤 順子

メディフォード株式会社 病理研究部 鹿島病理G

ポスター発表 13. 皮膚・運動器

第1日目 1月23日(火) 討論時間 16:45 - 17:45 ポスター・商業展示会場(7階 イベントホール)

座長：佐々木 朋(マルホ株式会社)
能登 貴久(参天製薬株式会社)

P-62* 生分解性金属の生体反応の病理組織学的解析と3次元X線観察と元素マッピングによる分解挙動分析

○後藤 真由子¹⁾、布施 光輝¹⁾、田邊 由紀子¹⁾、萩原 仁美¹⁾、松田 崇斗¹⁾、安藤 大輔²⁾、
須藤 祐司^{2,3)}、山岸 奎佑¹⁾、麻生 良平¹⁾、猪俣 依子¹⁾、田崎 雅子¹⁾

¹⁾テルモ株式会社、²⁾東北大学 大学院工学研究科 知能デバイス材料学専攻、

³⁾東北大学 材料科学高等研究所

P-63* To evaluate the safety of filler A in histopathology

○Xiaoyu Xiu

PharmaLegacy Laboratories (Shanghai) Co., Ltd.

P-64 Hypopigmentation in Beagle Dogs treated with an anticarcinogen

○Qingxi Kong

Pharmaron, China

P-65 ラット椎間板損傷モデルで認められた病変は脊索腫に類似していた

○押方 孝文、友成 由紀、涌生 ゆみ、菅野 剛

メディフォード株式会社 非臨床事業部 病理研究部

ポスター発表 14. 呼吸器・免疫系

第2日目 1月24日(水) 討論時間 14:50 - 15:50 ポスター・商業展示会場(7階 イベントホール)

座長：永池 美香(石原産業株式会社)
鈴木 智(大鵬薬品工業株式会社)

P-66 Development of an *in vitro* dosing assay for trans-tracheal intrapulmonary spraying administration of chemicals in rats

○Min Gi¹⁾、Masaki Fujioka²⁾、Kana Shibano²⁾、Guiyu Qiu²⁾、Arpamas Vachiraarunwong¹⁾、Runjie Guo¹⁾、
Anna Kakehashi²⁾、Shugo Suzuki²⁾、Hideki Wanibuchi²⁾

¹⁾Department of Environmental Risk Assessment, Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine,

²⁾Department of Molecular Pathology, Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine

P-67* 演題取り下げ

P-68 経皮／経口暴露によるアレルギーマウスモデルにおけるナノ銀のアジュバント作用の検討

○水田 保子¹⁾、赤木 純一¹⁾、豊田 武士¹⁾、木村 美恵²⁾、爲廣 紀正²⁾、安達 玲子²⁾、Young-Man Cho¹⁾、小川 久美子¹⁾

¹⁾国立医薬品食品衛生研究所 病理部、²⁾国立医薬品食品衛生研究所 生化学部

P-69 SD ラットのリンパ節で自然発生性に認められた樹状細胞増生の特徴

○佐藤 弘昌¹⁾、齋藤 那美香¹⁾、皆合 美月¹⁾、野口 ちひろ¹⁾、村上 雄一¹⁾、黒滝 哲郎¹⁾、小泉 治子¹⁾、梶村 哲世¹⁾、畠山 洋文¹⁾、藤原 淳¹⁾、岩田 聖²⁾

¹⁾株式会社イナリサーチ、²⁾株式会社 ルナパス毒性病理研究所

P-70 演題取り下げ

ポスター発表 15. その他 1

第1日目 1月23日(火) 討論時間 16:45 - 17:45 ポスター・商業展示会場(7階 イベントホール)

座長：松下 幸平(国立医薬品食品衛生研究所)

三枝 由紀恵(独立行政法人医薬品医療機器総合機構)

P-71 化審法のための人健康に関する有害性評価：有害性情報が乏しい優先評価化学物質の詳細評価の課題について

○井上 薫、川島 明

国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部

P-72 Do we know INHAND? International Harmonization of Nomenclature and Diagnostic Criteria

○Shim-mo Hayashi^{1,2)}, Ute Bach³⁾, Alys Bradley⁴⁾, Mark Cesta⁵⁾, Stacey Fossey⁶⁾, Takanori Harada⁷⁾, Matt Jacobsen⁸⁾, Rupert Kellner⁹⁾, Victoria Laast¹⁰⁾, Emily Meseck¹¹⁾, Thomas Nolte¹²⁾, Susanne Rittinghausen⁹⁾, Junko Sato¹³⁾, John Vahle¹⁴⁾, Katsuhiko Yoshizawa¹⁵⁾

¹⁾National Institute of Health Sciences, ²⁾Tokyo University of Agriculture and Technology, ³⁾Bayer AG,

⁴⁾Charles River Laboratories, ⁵⁾National Institute of Environmental Health Sciences, ⁶⁾AbbVie,

⁷⁾The Institute of Environmental Toxicology, ⁸⁾Astra Zeneca, ⁹⁾Fraunhofer ITEM, ¹⁰⁾Labcorp Drug Development,

¹¹⁾Novartis Institute for Biomedical Research, ¹²⁾Boehringer Ingelheim Pharma GmbH & Co. KG,

¹³⁾LSI Medience, ¹⁴⁾Eli Lilly, ¹⁵⁾Mukogawa Women's University

P-73 製薬協 基礎研究部会 AI病理に関するタスクフォース報告(1) AI病理に関するアンケート調査

○山崎 雅輝^{1,2)}、富川 恵美^{1,3)}、岡田 味世子^{1,4)}、梶川 悟^{1,5)}、寺山 由依^{1,6)}、隈部 志野^{1,7)}、坂入 鉄也^{1,8)}、猪又 晃^{1,9)}、松本 泉美^{1,10)}、佐藤 玄^{1,11)}、鈴木 睦^{1,12)}

¹⁾日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 基礎研究部会 AI病理に関するタスクフォース、

²⁾中外製薬株式会社、³⁾東レ株式会社、⁴⁾ヤンセンファーマ株式会社、⁵⁾アステラス製薬株式会社、

⁶⁾大塚製薬株式会社、⁷⁾日本新薬株式会社、⁸⁾田辺三菱製薬株式会社、⁹⁾富士フイルム富山化学株式会社、

¹⁰⁾住友ファーマ株式会社、¹¹⁾エーザイ株式会社、¹²⁾協和キリン株式会社

P-74* 製薬協 基礎研究部会 AI病理に関するタスクフォース報告(2)

最近のAI病理に関する研究報告から見てくるもの

○富川 恵美^{1,2)}、坂井 慧^{1,3)}、山際 慶典^{1,4)}、寒川 祐見^{1,5)}、香川 雄輔^{1,6)}、加藤 祐樹^{1,7)}、
小島 健介^{1,8)}、猪又 晃^{1,9)}、松本 泉美^{1,10)}、佐藤 玄^{1,11)}、鈴木 睦^{1,8)}

¹⁾日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 基礎研究部会 AI病理に関するタスクフォース、²⁾東レ株式会社、
³⁾旭化成ファーマ株式会社、⁴⁾千寿製薬株式会社、⁵⁾日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社、
⁶⁾ノバルティスファーマ株式会社、⁷⁾塩野義製薬株式会社、⁸⁾協和キリン株式会社、
⁹⁾富士フイルム富山化学株式会社、¹⁰⁾住友ファーマ株式会社、¹¹⁾エーザイ株式会社

P-75 製薬協 基礎研究部会 AI病理に関するタスクフォース報告(3)

AI病理に利用可能な病理組織画像DBに関する調査

○白井 真人^{1,2)}、太田 恵津子^{1,3)}、内田 悠^{1,4)}、梶川 悟^{1,5)}、岡田 味世子^{1,6)}、猪又 晃^{1,7)}、
松本 泉美^{1,8)}、佐藤 玄^{1,3)}、鈴木 睦^{1,9)}

¹⁾日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 基礎研究部会 AI病理に関するタスクフォース、
²⁾第一三共株式会社、³⁾エーザイ株式会社、⁴⁾帝人ファーマ株式会社、⁵⁾アステラス製薬株式会社、
⁶⁾ヤンセンファーマ株式会社、⁷⁾富士フイルム富山化学株式会社、⁸⁾住友ファーマ株式会社、
⁹⁾協和キリン株式会社

ポスター発表 16. その他2

第2日目 1月24日(水) 討論時間 14:50 - 15:50 ポスター・商業展示会場(7階 イベントホール)

座長：村上 雄一(株式会社イナリサーチ)
松尾 沙織里(中外製薬株式会社)

P-76 毒性病理評価者育成におけるデジタルツールの活用と課題

○加藤 淳彦、篠塚 淳子、足立 健児、林 修次
中外製薬(株) トランスレーショナルリサーチ本部 安全性バイオサイエンス研究部

P-77 光超音波イメージングによるマウスモデルの非造影 *in vivo* 血管像の経時変化評価

○浅尾 恭史¹⁾、平野 龍一郎²⁾、長永 兼一¹⁾、関口 博之¹⁾、相磯 貞和¹⁾、渡邊 重明²⁾、
佐藤 満里花²⁾、八木 隆行¹⁾、近藤 科江²⁾
¹⁾株式会社Luxonus、²⁾東京工業大学 生命理工学院

P-78 一般毒性試験及び発がん性試験の肉眼所見用語集 — JSTP国際用語委員会より —

○佐藤 順子¹⁾、藤原 利久²⁾、飯田 麻里³⁾、小川 久美子⁴⁾、高橋 祐次⁴⁾、平林 容子⁴⁾、
甲斐 清徳⁵⁾、柿本 恒知⁶⁾、神鳥 仁志⁷⁾、仲辻 俊二⁸⁾、畠山 洋文⁹⁾、岩田 聖¹⁰⁾
¹⁾メデイフォード、²⁾新日本科学、³⁾University of Wisconsin-Madison、⁴⁾国立医薬品食品衛生研究所、⁵⁾第一三共、
⁶⁾ボヅリサーチセンター、⁷⁾Axcelead Drug Discovery Partners、⁸⁾Altasciences Preclinical Seattle、⁹⁾イナリサーチ、
¹⁰⁾ルナパス毒性病理研究所

P-79 SENDIG v4.0(次期SENDIG)が要求する病理関連データの追加と変更に関する検討

○畠山 洋文¹⁾、植松 敦史¹⁾、堀川 真一¹⁾、飯野 好美¹⁾、藤原 淳¹⁾、安齋 享征^{2,3)}、
岩田 聖⁴⁾
¹⁾(株)イナリサーチ、²⁾昭和大学 医学部、³⁾Instem、⁴⁾ルナパス毒性病理研究所

P-80 演題取り下げ

ポスター発表 17. その他3

第1日目 1月23日(火) 討論時間 16:45 - 17:45 ポスター・商業展示会場(7階 イベントホール)

座長：中原 豊(メディフォード株式会社)
鈴木 周五(大阪公立大学)

P-81* ラット静脈内インフュージョン投与における病理組織学的背景データ

○伊藤 優子、齊藤 遼太、藤澤 希望、加藤 淳彦
中外製薬株式会社 安全性バイオサイエンス研究部

P-82 Historical control data of spontaneous tumors in Tg.rasH2 mice

○Yanan He¹⁾, Beibei Wang¹⁾, Jun Yin¹⁾, Mu Du¹⁾, Lei Zhao¹⁾, Xiaojing Liu¹⁾, Jing Hu¹⁾, Rui Zhang¹⁾,
Wenyu Wu²⁾
¹⁾JOINN Laboratories (China) Co., Ltd., ²⁾Biocytogen Pharmaceuticals (Beijing) Co., Ltd.

P-83* Acute toxicity of palmitoyl piperidinopiperidine in rats

○Nahida Sultana, Katsumi Fukamachi, Saeko Ando, Tomoya Ozaki, Hideaki Kurachi,
Dipankar Chandra Roy, Masumi Suzui
Department of Neurotoxicology, Institute of Brain Science, Graduate School of Medical Sciences and Medical
School, Nagoya City University

P-84* Pathological observation of a human dendritic cell injection administrated by subcutaneous injection to NPG mice

○Beibei Wang¹⁾, Yanan He¹⁾, Mu Du¹⁾, Xiaojing Liu¹⁾, Lei Zhao¹⁾, Jing Hu¹⁾, Jun Yin¹⁾, Rui Zhang¹⁾,
Wenyu Wu²⁾
¹⁾JOINN Laboratories (China) Co., Ltd., ²⁾Biocytogen Pharmaceuticals (Beijing) Co., Ltd.

P-85 SDラットを用いたdecyltrimethoxysilaneの13週間反復投与試験

○高須 伸二¹⁾、石井 雄二¹⁾、相馬 明玲¹⁾、松本 真理子²⁾、小川 久美子¹⁾
¹⁾国立医薬品食品衛生研究所 病理部、²⁾国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部

ポスター発表 18. その他4

第2日目 1月24日(水) 討論時間 14:50 - 15:50 ポスター・商業展示会場(7階 イベントホール)

座長：岡崎 欣正(AnaPath Services GmbH)
井上 薫(国立医薬品食品衛生研究所)

P-86* 演題取り下げ

P-87* Cytotoxicity and antiangiogenic effects of a newly synthesized agent, dimethylaminopropyl hexadecanamide

○Dipankar Chandra Roy, Nahida Sultana, Katsumi Fukamachi, Tomoya Ozaki, Hideaki Kurachi,
Masumi Suzui
Department of Neurotoxicology, Institute of Brain Science, Graduate School of Medical Sciences and Medical
School, Nagoya City University

P-88* 演題取り下げ

P-89* **Tumorigenicity of human umbilical cord mesenchymal stem cells injected intravenously/
subcutaneously in NOG mice**

○ Siming Zhang¹⁾, Tingli Bian¹⁾, Lili Zhang¹⁾, Fang Liu¹⁾, Hao Chen¹⁾, Lijuan Xia¹⁾, Yunxiang Chen¹⁾,
Wenyu Wu²⁾, Lijiang Zhang¹⁾

¹⁾Center of Safety Evaluation and Research, Hangzhou Medical College,

²⁾Biocytogen Pharmaceuticals (Beijing) Co., Ltd.

P-90 演題取り下げ

P-91 演題取り下げ